

令和5年6月20日

令和5年度病害虫発生予察注意報（第1号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：スイカ炭疽病
2. 対象作物：スイカ
3. 対象地域：県内全域
4. 発生量：多
5. 発生時期：梅雨時期（5～7月）
6. 注意報発表の根拠
 - 1）県北部の露地栽培スイカにおける6月中旬の発生ほ場率は17%（平成3%）、発病葉率は1.1%（平成0.1%）であり、いずれも平成と比べて高い（表1）。
 - 2）県中部の露地栽培スイカにおける6月中旬の発生ほ場率は83%（平成13%）、発病葉率は8.3%（平成1.6%）であり、いずれも平成と比べて高い（表1）。
 - 3）大阪管区気象台発表の1か月予報（予報期間：6月17日～7月16日）によると、曇りや雨の日が多い見込みで、発病に好適な条件が続くと予想される。

表1 6月の県北部および県中部におけるスイカ炭疽病の発生状況

	平成	平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和	令和	令和	令和5年	平年	
	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	(本年)		
県北部	発生ほ場率 (%)	0	0	0	0	0	10	0	0	20	0	17	3
	発病葉率 (%)	0	0	0	0	0	0.3	0	0	0.3	0	1.1	0.1
県中部	発生ほ場率 (%)	7	0	0	7	0	0	0	0	100	12	83	13
	発病葉率 (%)	4.4	0	0	4.1	0	0	0	0	7.4	0	8.3	1.6

注) 平年：平成25～令和4年の平均

7. 防除上の注意事項
 - 1）発生を確認した場合、発病茎葉や果実（写真1、2）を速やかに取り除き、ほ場の外に持ち出すとともに、5～7日間隔で薬剤防除を梅雨明けまで続ける。
 - 2）未発生ほ場においても降雨前の予防散布に努める。
 - 3）ほ場の排水性を改善するとともに、降雨の跳ね上がり防止に努める。
 - 4）防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。



写真1 スイカ葉の病斑



写真2 スイカ果実の病斑

和歌山県農作物病害虫防除所
電話：0736(64)2300